普及活動情勢報告（令和８年９月分）

中央西農業振興センター　高知農業改良普及所

都積営農組合のビジョンの達成に向けて
～土佐山都積地区勉強会～



勉強会の様子

８月 22 日、土佐山都積地区での勉強会が開催され、都積営農組合の組合員９名が参加しました。

普及所からは、物価が高騰する中、安定的に所得を確保するために、加工用ユズを早どりすることにより裏年と表年の収穫量の差を減じ、所得の増減を少なくすることを提案しました。

組合員からは「中山間地域等直接支払交付金のスマート農業加算を使えば、加工用ユズの品質が高まり、所得が少しでもあがる」などの意見がありました。

今後も普及所は、集落営農組織や関係機関と連携し、中山間地域の農業の維持・発展に向けて支援していきます。

令和９園芸年度の栽培に向けて
～きゅうり定植前勉強会～



定植前勉強会の様子

９月８日、ＪＡ高知県春野胡瓜部会を対象にきゅうり定植前勉強会を開催し、42 人（生産者 35 人、関係機関７人）が参加しました。

普及所からは、初期の樹づくりの重要性、定植前後における管理のポイントを説明しました。

生産者からは「土づくりの耕うんは何回しているか？」「苗はどの程度の深さで定植しているか？」など質問があり、活発な意見交換ができました。

今後も普及所は、ＪＡと連携し、生産者の収量向上に向けて支援していきます。

アンケートから考える土佐山のユズの現状/将来
～高知市土佐山柚子生産組合中央研修会～



研修会の様子

９月 11 日、高知市土佐山柚子生産組合の中央研修会が開催され、生産者 30 名、ＪＡ、ユズ果汁・果皮販売先企業、高知市、普及所が参加しました。

普及所からは、組合員（185 戸）を対象に行っている「令和８年度高知市ユズ産地振興に関するアンケート」の中間報告や、施肥や早期収穫による生産力維持について情報を共有しました。

アンケート結果より、高齢化や病害虫被害が問題であることや、省力化としてドローンの活用を考えている生産者が多いことがわかりました。また、参加者からは「ドローン防除の委託先を教えてほしい」等の意見が寄せられました。

今後も普及所は、ＪＡや市と連携し、省力化に向けたドローン活用の推進に取り組んでいきます。

水稲の生育概況を報告
～高知市農協稲作部会運営委員会～



運営委員会の様子

９月 18 日、ＪＡ高知市本所で高知市農協稲作部会運営委員会が開催され、生産者６名が参加しました。

普及所からは、気象概況、今作の状況、今年度の実証試験について説明するとともに、カメムシによる斑点米や水管理等による胴割米（どうわれまい）の発生が例年より多いことを報告しました。

参加者からは、今作の減収要因についての質疑もあり、有意義な会となりました。

今後も普及所は、関係機関と連携し、産地の生産力向上に取り組んでいきます。